



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <https://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 彰之介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 白川 聖明 TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	14,015	16.6	5,374	33.9	5,645	42.3	4,168	52.4	4,170	51.6	4,185	55.0
2022年3月期第1四半期	12,021	26.5	4,012	81.6	3,967	84.0	2,734	102.8	2,750	93.9	2,699	96.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	20.38	20.37
2022年3月期第1四半期	13.35	13.34

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	75,530	48,282	48,076	63.7
2022年3月期	70,477	48,164	47,956	68.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2023年3月期	-				
2023年3月期 (予想)		20.00	-	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	29,500	23.5	11,200	37.9	11,100	38.3	7,600	31.6	37.14
通期	64,500	24.7	25,900	35.3	25,800	23.5	17,600	23.1	86.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	205,281,200株	2022年3月期	205,281,200株
2023年3月期1Q	672,587株	2022年3月期	675,587株
2023年3月期1Q	204,607,295株	2022年3月期1Q	206,004,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づく見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により上記数値とは異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

売上収益は14,015百万円（前年同期比16.6%増）となりました。これは主として、まん延防止等重点措置その他の行動制限が全国的に解除されるとともに経済社会活動の正常化が進む中で、食べログ事業における飲食店販促事業、求人ボックス事業をはじめとする新興メディア・ソリューション事業、及びファイナンス事業において売上が増加した一方、価格.com事業において売上が減少したことによるものであります。

営業利益は5,374百万円（前年同期比33.9%増）となりました。これは主として売上収益の増加によるものであります。

税引前四半期利益は5,645百万円（前年同期比42.3%増）となりました。これは主として営業利益及び金融収益の増加並びに持分法による投資損失の計上によるものであります。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,170百万円（前年同期比51.6%増）となりました。

セグメントの業績（内部取引消去後）は、次のとおりであります。

① インターネット・メディア事業

当第1四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上収益は13,292百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は5,182百万円（前年同期比35.5%増）となりました。

[価格.com]

当第1四半期連結累計期間の売上収益は4,957百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

ショッピング事業及び広告事業は、新製品の減少その他の供給面の制約における影響が長期化していることを受けて売上が減少しました。サービス事業は、個人消費の弱い状況が続き売上が減少しました。

その結果、ショッピング事業の売上収益は2,113百万円（前年同期比6.8%減）、サービス事業の売上収益は1,945百万円（前年同期比9.7%減）、広告事業の売上収益は898百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

2022年6月度の月間利用者数（※1）は5,344万人となりました。

[食べログ]

当第1四半期連結累計期間の売上収益は5,373百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

飲食店販促事業は、売上収益が4,621百万円（前年同期比57.6%増）となりました。まん延等重点防止措置の全国的な解除に伴い外食需要が着実に回復に向かっていくことからネット予約人数は当第1四半期連結累計期間において1,224万人（前年同期比192.1%増）となり、飲食店におけるネット予約サービスの利用店舗が増加したことにより有料プラン契約店舗数は6月末日時点において65,700店舗となりました。

ユーザー会員事業は、有料サービス加入者数の減少により売上収益が369百万円（前年同期比6.0%減）となりました。広告事業の売上収益は360百万円（前年同期比14.8%増）、業務受託の売上収益は23百万円（※2）となりました。

2022年6月度の月間利用者数（※1）は9,325万人となりました。

[新興メディア・ソリューション]

当第1四半期連結累計期間の売上収益は2,962百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

新興メディア・ソリューション事業は、求人ボックス事業及び不動産、旅行・移動の各領域における売上が増加しました。

② ファイナンス事業

当第1四半期連結累計期間のファイナンス事業の売上収益は723百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は191百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

㈱カカコム・インシュアランスが運営する『価格.com保険』は主に生命保険のオンライン契約申込が増加したことにより手数料収入が増加しました。

※1 月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた利用者数です（特定のブラウザ、OS等によっては一定期間経過後に再訪した利用者を重複計測する場合があります）。モバイル端末のウェブページ高速表示に伴う利用者数の重複や、第三者による自動収集プログラムなどの機械的なアクセスについては可能な限り排除して計測しています。なお、食ベログにおいては、2022年2月をもってAMP (Accelerated Mobile Pages) 対応を終了いたしました。

※2 Go To Eatキャンペーン事業（農林水産省）の受託による収入を指しております。ただし、当該事業の受託による広告宣伝に係る収入（広告事業に計上）は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は75,530百万円となり、前連結会計年度末と比較し5,052百万円増加いたしました。これは主に、使用権資産が338百万円減少した一方で、その他の流動資産が4,232百万円、営業債権及びその他の債権が430百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は27,248百万円となり、前連結会計年度末と比較し4,935百万円増加いたしました。これは主に、未払法人所得税が1,492百万円、営業債務及びその他の債務が357百万円それぞれ減少した一方で、その他の流動負債が5,775百万円、その他の金融負債（流動）が1,525百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(資本)

資本合計は48,282百万円となり、前連結会計年度末と比較し118百万円増加いたしました。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益4,170百万円を計上した一方で、剰余金の配当4,092百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ256百万円増加し、34,555百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,135百万円（前年同期は1,820百万円の収入）となりました。

これは主に、法人所得税の支払額3,230百万円を計上した一方で、税引前四半期利益5,645百万円、その他の金融負債の増加1,513百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は444百万円（前年同期は454百万円の支出）となりました。

これは主に、サーバーで使用するソフトウェアの購入等の無形資産の取得による支出が356百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は4,440百万円（前年同期は4,540百万円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払による支出が4,080百万円、リース負債の返済による支出が354百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	34,298	34,555
営業債権及びその他の債権	7,919	8,349
その他の金融資産	252	490
その他の流動資産	4,575	8,806
流動資産合計	47,044	52,200
非流動資産		
有形固定資産	2,329	2,233
使用権資産	6,671	6,333
のれん及び無形資産	6,886	6,839
持分法で会計処理されている投資	781	772
その他の金融資産	6,151	6,279
繰延税金資産	529	796
その他の非流動資産	86	77
非流動資産合計	23,433	23,330
資産合計	70,477	75,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,939	2,582
社債及び借入金	486	477
その他の金融負債	1,040	2,565
未払法人所得税	3,244	1,752
リース負債	1,223	1,078
従業員給付に係る負債	1,739	1,546
その他の流動負債	5,885	11,661
流動負債合計	16,557	21,662
非流動負債		
社債及び借入金	40	40
リース負債	4,848	4,671
引当金	549	550
その他の非流動負債	319	325
非流動負債合計	5,757	5,586
負債合計	22,313	27,248
資本		
資本金	916	916
資本剰余金	141	141
利益剰余金	48,621	48,697
自己株式	△2,175	△2,166
その他の資本の構成要素	454	488
親会社の所有者に帰属する持分合計	47,956	48,076
非支配持分	208	206
資本合計	48,164	48,282
負債及び資本合計	70,477	75,530

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	12,021	14,015
営業費用	8,014	8,601
その他の収益	7	4
その他の費用	1	45
営業利益	4,012	5,374
金融収益	6	289
金融費用	7	9
持分法による投資損益	△44	△9
税引前四半期利益	3,967	5,645
法人所得税費用	1,233	1,476
四半期利益	2,734	4,168
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,750	4,170
非支配持分	△16	△2
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	13.35	20.38
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	13.34	20.37

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	2,734	4,168
その他の包括利益 (税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△35	16
純損益に振り替えられることのない項目合計	△35	16
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△0	0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1	△0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1	0
その他の包括利益 (税効果控除後)	△35	16
四半期包括利益	2,699	4,185
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,716	4,186
非支配持分	△16	△2

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	463	47,028	△1,842
四半期利益	—	—	2,750	—
その他の 包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	2,750	—
剰余金の配当	—	—	△4,120	—
自己株式の 取得及び処分	—	—	△0	7
支配継続子会社に対 する持分変動	—	△36	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—
その他	—	△0	—	—
所有者との取引額合計	—	△36	△4,120	7
期末残高	916	427	45,658	△1,835

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					合計		
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	新株 予約権	その他の 資本の 構成要素 合計			
期首残高	37	△14	△1	293	316	46,880	261	47,141
四半期利益	—	—	—	—	—	2,750	△16	2,734
その他の 包括利益	△35	△0	1	—	△35	△35	△0	△35
四半期包括利益合計	△35	△0	1	—	△35	2,716	△16	2,699
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△4,120	—	△4,120
自己株式の 取得及び処分	—	—	—	△1	△1	6	—	6
支配継続子会社に対 する持分変動	0	—	—	—	0	△36	36	—
株式報酬取引	—	—	—	24	24	24	—	24
その他	—	—	—	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額合計	0	—	—	22	23	△4,126	36	△4,091
期末残高	2	△14	△0	316	303	45,470	281	45,750

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	141	48,621	△2,175
四半期利益	—	—	4,170	—
その他の 包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	4,170	—
剰余金の配当	—	—	△4,092	—
自己株式の 取得及び処分	—	—	△2	10
株式報酬取引	—	—	—	—
その他	—	△0	—	—
所有者との取引額合計	—	△0	△4,094	10
期末残高	916	141	48,697	△2,166

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					合計		
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ 他の包括利 益に対する持 分	新株 予約権	その他の 資本の 構成要素 合計			
期首残高	117	△14	△4	354	454	47,956	208	48,164
四半期利益	—	—	—	—	—	4,170	△2	4,168
その他の 包括利益	16	0	△0	—	16	16	0	16
四半期包括利益合計	16	0	△0	—	16	4,186	△2	4,185
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△4,092	—	△4,092
自己株式の 取得及び処分	—	—	—	△1	△1	6	—	6
株式報酬取引	—	—	—	19	19	19	—	19
その他	—	—	—	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額合計	—	—	—	18	18	△4,067	—	△4,067
期末残高	133	△14	△4	372	488	48,076	206	48,282

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,967	5,645
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	892	864
受取利息及び受取配当金	△0	△0
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	604	△430
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	△377	△273
その他の金融負債の増減 (△は減少)	△1,716	1,513
その他	1,227	1,051
小計	4,597	8,369
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△11	△8
法人所得税の支払額	△2,769	△3,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,820	5,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△60	△81
無形資産の取得による支出	△269	△356
投資有価証券の取得による支出	△147	—
投資事業組合等の分配収入	12	5
敷金及び保証金の差入による支出	△21	△16
その他	30	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△454	△444

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△65	—
長期借入金の返済による支出	△10	△9
リース負債の返済による支出	△359	△354
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払による支出	△4,108	△4,080
ストック・オプションの行使による収入	6	6
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,540	△4,440
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	△0	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,174	256
現金及び現金同等物の期首残高	34,888	34,298
現金及び現金同等物の四半期期末残高	31,714	34,555

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。